

超音波加湿器にご注意



医療法人
岡村一心堂病院

よりよい医療を
地域の人々に

岡山市東区西大寺南 2-1-7
Tel 086-942-9900
URL : <http://www.isshin.or.jp/>
E-mail : info@isshin.or.jp

超音波加湿器にご注意

理事長 岡村 一博

冬の病室では、モクモクと湯気を立てる加湿器を見かけます。少し前ですが、温泉打たせ湯や、家庭の24時間風呂でのレジオネラ感染性肺炎が問題になりました。いずれも湯気を吸い込んだ肺炎です。病室の加湿器は大丈夫でしょうか。

1月中旬に調査したところ、岡村一心堂病院では個室に13台の加湿器が持ち込まれて使用されていました。

装置の内訳は超音波式6台、気化式5台、スチーム式2台でした。一般細菌検出用の寒天培地を1分間ほど霧に当てて細菌が生えてくるかどうか確認しました。

	会社名	加湿方式	培養結果
(A)	made in china (KTK240)	超音波式	陰性桿菌 1 コロニー
(B)	アピックス社 (シズクプラス)	超音波式	ブドウ球菌 1 コロニー アシネトバクター 28 コロニー
(C)	会社名不明	超音波式	各種の陰性桿菌 各 4, 23, 62 コロニー
(D)	会社名不明	超音波式	陰性桿菌 (アルカリゲネス、エンテロバクター) 50~99 コロニー 環境の陰性桿菌 100 コロニー以上
(E)	ダイニチ	超音波式	陽性球菌 1 コロニー

上記のように13台中、5台の霧の中に細菌が検出されました。レジオネラ菌を検出する培地は特殊なので今回は使用していませんが、(B)、(C)、(D)では大量の細菌がばらまかれており、レジオネラ菌も検出されるかもしれません。

この5台とも、超音波式であるのが問題で、超音波加湿器が原因でのレジオネラ肺炎の死亡例が新聞で報道された事もあり、国内の大手家電メーカーは超音波加湿器からは、完全に撤退しました。

超音波式でない加湿器でも、溜めている水に細菌が増殖していますので、注意が必要です。

対策は、

超音波式を選ばない。

毎日水を替える。

週1回、水を溜めているところやフィルターを洗浄する。

まだまだ寒い日が続きますので暖房と加湿器が重宝します。「極寒の寒さも裸祭りまで」と、このあたりでは言いますが、機械の使用法を守って快適に過ごしましょう。